

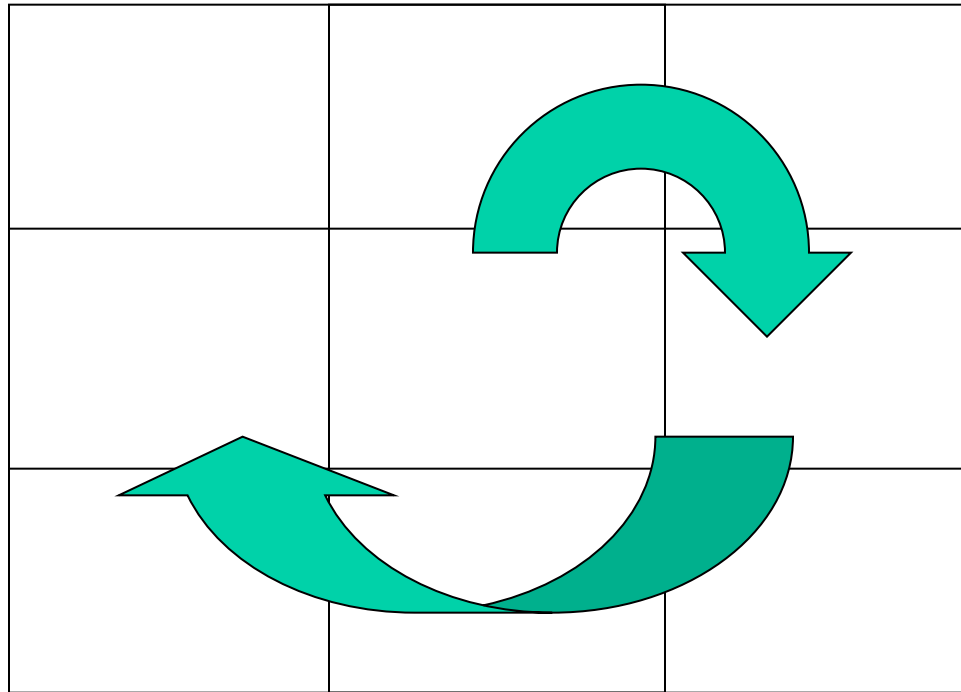
常盤塾 「Bali留学」に思うこと

幸せはデジタルではない

今田 純
2008/04/05

Baliの2側面： その①「大きな流れの中の自分」

すべては円運動



基本的に「終わり」がない

生生流転 輪廻転生

死は次に生きるための旅立ち＝喜び

「全き者」となりて天界に行くと、生まれ変わらない

もうこの世には来ない＝無上の喜び

生命が連続性の中で繁栄するための自己解体プログラム

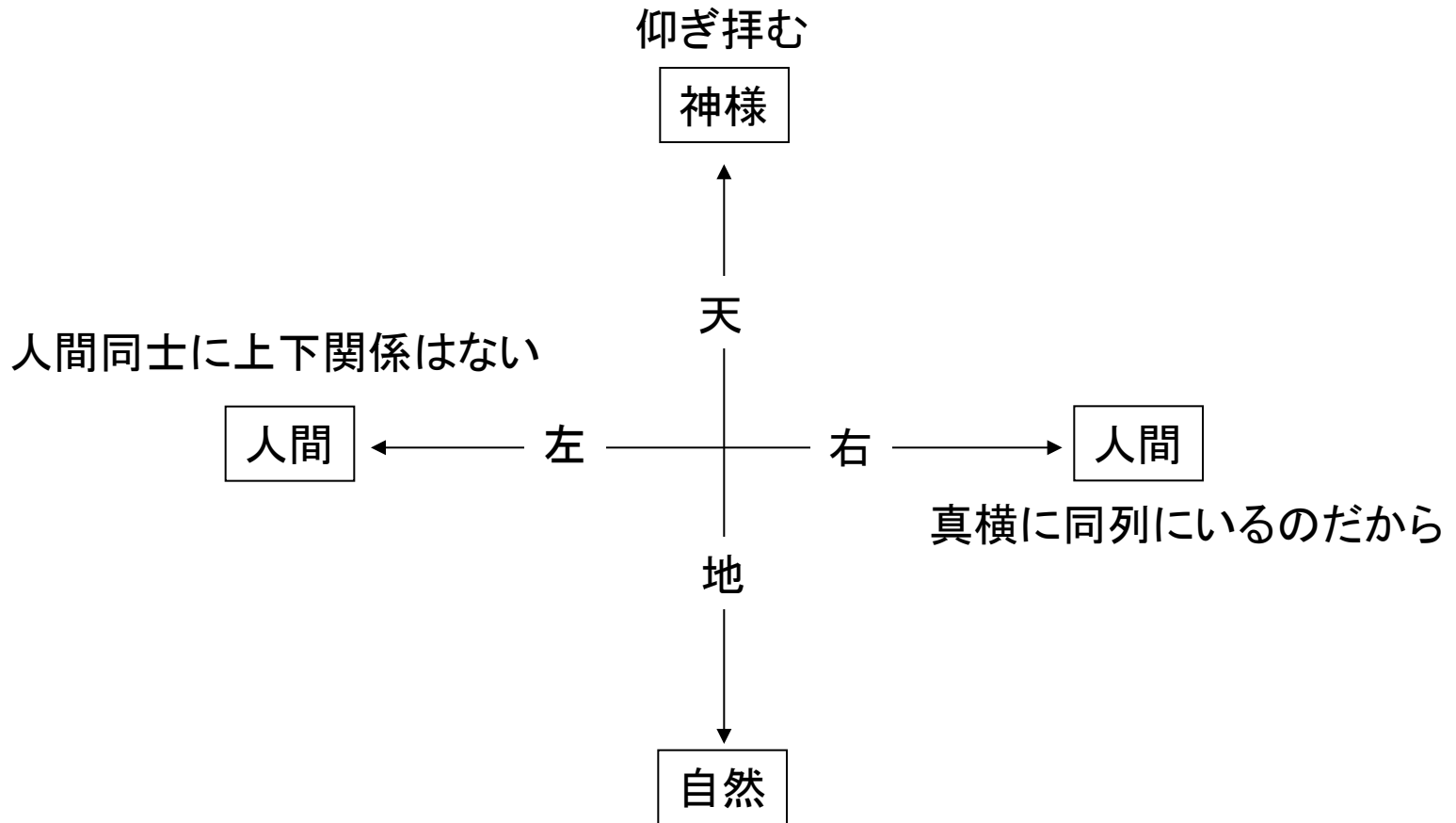
(⇒大橋2008参照)

「再利用するのにちょうどよい頃合い」にまで自らを解体する

それ以上でもそれ以下でもない

トリヒタカーナ(って言ったと思う)

私たちの考える世界は十文字で出来ているんです(ガイドのスシラさん)



お辞儀をする

足元の自然は足蹴にするのではなく、お辞儀する対象である

Baliの2側面： その②「ドーパミン・パラダイス」

喜びだけが報酬

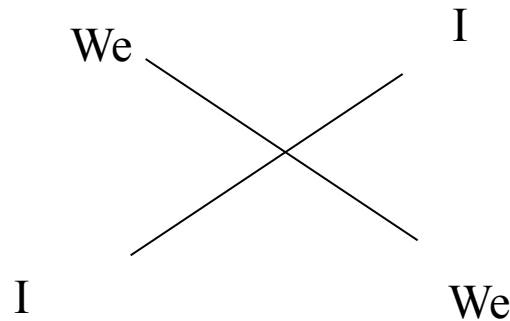
強化学習

一緒に居る
会う

一人でいる
会わずに済ませる

作り出す
究める

作業する
言われてやらされる



じつに33年間、ほとんど何も変わっていない

車は多少、増えたみたいだが

変わる必要がない。

幸せだから。

食べ物がある
仲間がいる

自然に囲まれている
神を感じてる

考えてみりゃ、なんでこれで足りないって思うんだろう？

【文明とは何だろうか】

＝砂漠の地に生まれ、寒冷の地に育まれた「適応の努力」＝

<創世記: 幸いなる原初>

1.31

神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。

2.8-9

エデンに園を設け、自ら形づくった人をそこへ置かれた。主なる神は、見るからに好ましく、食べるに良いものをもたらすあらゆる木を地に生えいでさせ

2.15-17

人がそこを耕し、守るようにされた。主なる神は人に命じて言われた。「園のすべての木から取って食べなさい。ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう」

2.25

人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりはしなかった。

<賢しらにして幸を捨てる>

3.1

神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった

3.5

それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなる

3.7

二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした

3.17-18

お前のゆえに、土は呪われるものとなった。お前は生涯食べ物を得ようとして苦しむ。お前に対して土は茨とあざみを生えいさせ、野の草を食べようとするお前に

3.19

お前は顔に汗を流してパンを得る 土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。

<神は見捨てず: 西欧文明の原点はここ?>

3.21

主なる神は、アダムと女に皮の衣を作って着せられた。

3-22

「人は我々の一人のように、善悪を知る者となった。」

3-23

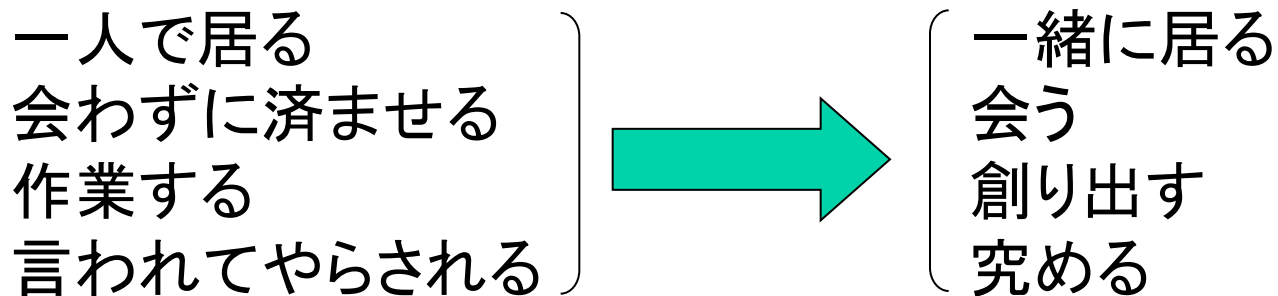
エデンの園から追い出し、彼に、自分がそこから取られた土を耕させることにされた。

そして今 { 空が
大地が
海が } 悲鳴をあげている

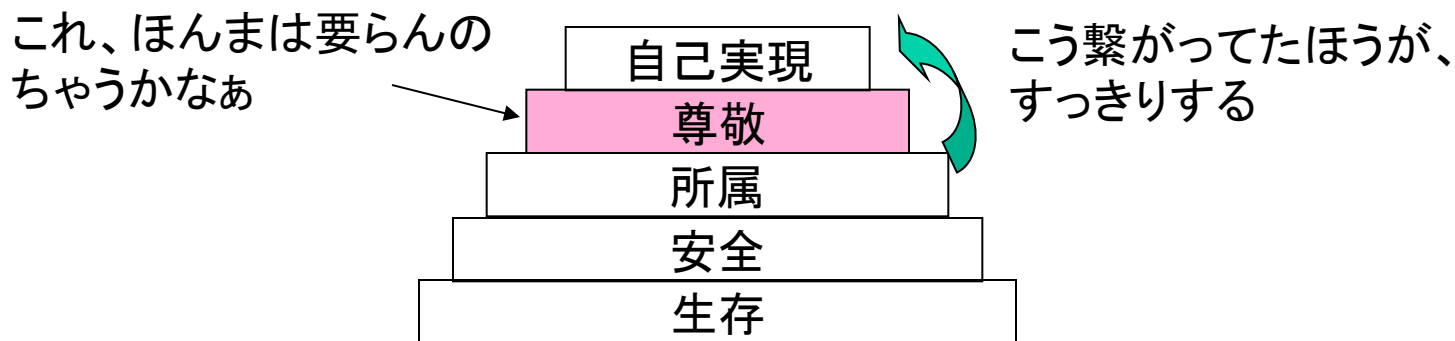
まあ確かに、70億人(総重量50億トン、恐竜時代を超える)を支えられる
熱帯雨林がもはや存在し得ないことも事実なんだけどね

「適応努力」の結果としてのOverflow

【でもとにかく、せめて可能な範囲だけでも、文明社会に取り込む努力をしたいなあ】

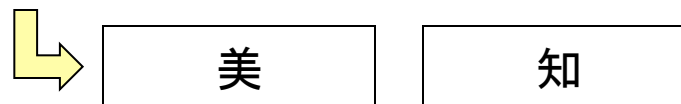


Hey, Dr. Maslow,



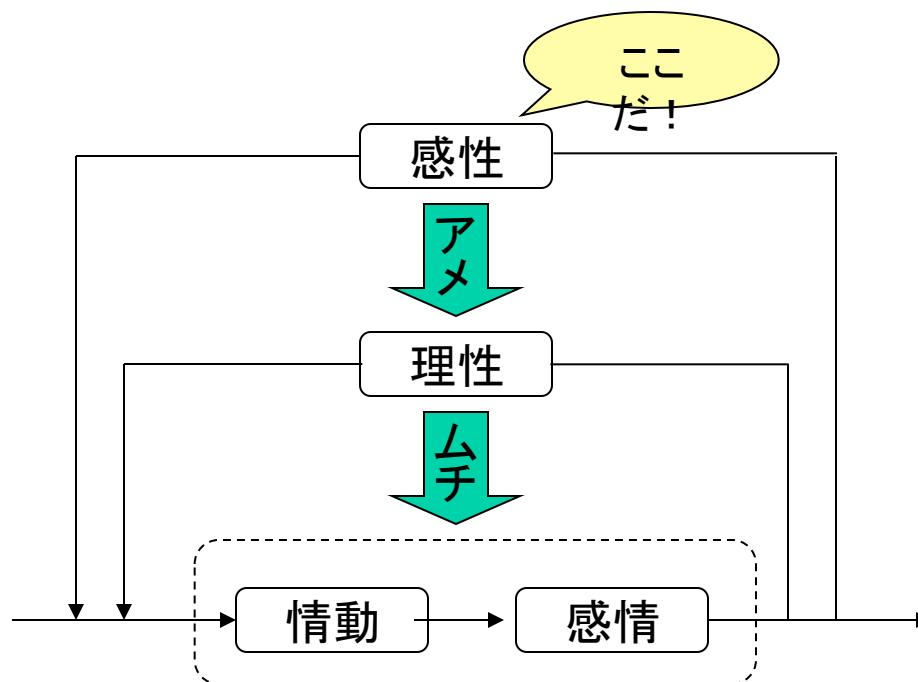
「誉められよう、人に見せようとする、仕事はどこか嘘になります」

マズローも後年、迷うてたらしい。あと2つ持ち出して「7欲求」を提唱している



ただ、どの段階に位置付ければよいか、答えを出せなかったとのこと

大橋モデルなら説明つきますね



人に言われんでも自分からやる。おもしろいから。
みんなで一緒にやる。楽しいから。

そんな組織にしたいものです。

資本主義 → **幸本主義**

貨幣を知るずっと前から
数字を知るずっと前から
文字を知るずっと前から
言葉を知るずっと前から } 人は「何が幸せか」を意識してたはずだもの

左脳／右脳 }
前頭前野 } が出来上がるずっと前から { 扁桃体 }
記号処理 } { 海馬 }
 { 感情処理 } } があったみたいだね